

第19回写真「1_WALL」グランプリ受賞者個展

田凱展「生きてそこにいて」

2019年7月23日(火)～8月24日(土) 11:00a.m.～7:00p.m. 日曜、8/10(土)～8/18(日)休館 入場無料

オープニングパーティー | 2019年7月23日(火) 7:00p.m.～8:30p.m.

トークイベント | 2019年7月31日(水) 7:10p.m.～8:40p.m. 「人はみな孤島であろう」 沢山遼(美術批評家)×田凱(写真家)

参加無料・要予約 *詳細はWEBへ



田凱は、かつて石油の産出で栄えた町が石油の産出量の低下とともに廃れていく光景と、そこで生活する人物を撮影した作品、「生きてそこにいて」で第19回写真「1_WALL」グランプリを獲得しました。審査員からは芸術性の高いドキュメンタリー写真として、高く評価されました。本展では、グランプリ受賞作品に、新たに撮影した写真を加え、再構成し展示します。

荒涼とした風景の中に佇む西洋風の彫刻、人気のない建物、新婚のカップルのポートレート、ベッドに腰掛ける青年の後ろ姿。故郷が少しずつ変化していく様子を、田は5年間にわたり、断続的に撮影し続けてきました。被写体から一定の距離感を保つように撮影された写真たちは、ある限定された都市の記録に留まらず、普遍的な故郷の姿を映し出し郷愁を誘います。それと同時に、盛衰を繰り返す世界のあり方をも表現しているかのようです。

会期中の7月31日(水)には、美術批評家の沢山遼さんをゲストに迎え、現代美術の観点から本展を掘り下げてお話しいただきます。グランプリ受賞から1年後の個展を、是非ご覧ください。

株式会社リクルートホールディングス リクルートクリエイティブセンター
ガーディアン・ガーデン

担当：山越 (a.yamakoshi@r.recruit.co.jp)

〒104-8227 東京都中央区銀座 7-3-5 ヒューリック銀座 7 丁目ビル B1F

TEL.03-3211-6526 FAX.03-3575-7077 <http://rcc.recruit.co.jp/gg/>

※ご取材や広報用画像をご希望の方は、上記お問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。

Twitter | @guardiangarden

Facebook | facebook.com/guardiangarden.tokyo

Instagram | guardian_garden

作家挨拶

遠い夏の日、家の近くで、石で遊ぶ僕がいる。将棋をやっているように見えるが、それは独自のコマの動かし方だった。

突然、横から、同級生が突っ込んできて、僕のコマを拾い、近所の窓に投げる。

ガシャーんと音がして、逃げ出すふたり。

公衆浴場の表の人だかりに身を隠すと、ある女性がこの中で変死したとの井戸端会議が、耳に入る。容疑者はすでに逃走したが、被害者は〇〇家の娘だ、と噂に聞く。

窓を割られた家のご主人は、のちに中学校で会ったら、英語の講師だった。英語を猛勉強する。

数年後、上海で再会した幼馴染は自分はホモセクシュアリティだと告げた。僕は彼が繊細な心の持ち主だと気付いていた。彼は、幼い頃に母親が働いていた病院が印象深いと回想したが、その病院は地方企業に早々に買収されたが、患者数減少でとうとうつぶれてしまった。当時の公衆浴場事件で、逃げた容疑者は病院関係者だった。今頃どうなってるのかは不明らしい。小さな場所だったが、不思議にもなんでもあった。

人の繋がりが強いコミュニティで、居心地が良いと言う人もいれば、悪いと言う人もいる。

廃校になった学校のキャンパスを撮影しに向かった。親の知り合いが現れ、廃校を買い取って運動場で養兔をしたという。兔の群れが教室に詰めかける夢を見た。人ががどンドン去って行く。いずれこの町は自然に戻る。

田凱

広報用画像一覧



田凱 Den Gai

2014年 日本写真芸術専門学校 フォトクリティークゼミ卒業

2018年 第19回写真「1_WALL」グランプリ

2017年 第17回写真「1_WALL」ファイナリスト

2016年 「潮廻從野」集美アルル写真祭 出展/中国

2015年 個展「Colony Island」、Roaming Photograph Gallery/台湾

2014年 「ヤングポートフォリオ」清里フォトアートミュージアムに作品收藏